

広報文芸

自由律俳句

おおくさの会編集室選

コスモス見頃ひと言そえて受話器おく

茶屋 小林 道子

まびき大根葉今夜の食の一品に

神戸上 柴田 篤子

極楽とは汝のふる里と説く住職のいて

茶屋 長谷川由美子

秋寒く冬物さがし身にまとう

宝谷 長尾 智恵

畝のくねり見ぬ振りして鍬を仕舞う

茶屋 藤原 寿郎

木屋のおだやかさ大根の虫につきあう

生山 渡邊 圭子

俳句

駄句駄句会編集室

案外の 初雪 タイヤ空回り

萩原 岡本 健三

吾亦紅 いつが見頃と 聞いてみる

宮内 木村萬佐子

七五三 たった一人の お姫様

宮内 田邊登志美

秋ばらや 白く漂い 香気なり

宮内 船越 裕子

年重ね 馴染んだ景色 小春の歩

矢戸 和田 淑子

味しめて 忘れられない 栗ごはん

神戸上 笹間 玲子

六度なり 霧をまといて 走る朝

下石見 矢田貝 元

川柳

駄句駄句会編集室

慣れました 白い大雪 赤予算

霞 渡邊 文照

短歌

兎の後に辰舞い降りて風を巻き 難吹き飛ばし幸呼び込まん

日中に徘徊しおり猫魅^{まみ}のこと するどい鼻で穴ほりまくり

行政よ民の手法をとり入れて 蓄財生かす回転のわざ

新春に健康一番決心し 寒さ克服ノルディックウォーク

朝明に夜は日々と明けゆきて 肩にほほのせ孫は眠りぬ

情けなや今置いた物直ぐ忘れ あちこち捜すなんだここ有る

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。



「辰」(龍・竜)



①両手の人差し指と親指の先を付けて鼻の下に当て、ひげが伸びている様子を表すように左右に広げる。



②両手の人差し指を伸ばして鼻の下に当て、ひげが伸びている様子を表すように左右に広げながら前に伸ばす。



③両手の親指・人差し指・中指を伸ばし、鼻の下に親指の先を当てたら、ひげが伸びている様子を表すように左右に広げる。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

「手話教室のお知らせ」
手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

1月の日程

1月～3月はお休みします。

